

【成人期】

※対象者・活動可能地域に関する注は3ページ

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
				対象者	活動可能地域 市内 市外	
125 アイトカガ 浅井 俊一 1953 秋葉区	新潟市こども創造センター長、下越美術教育研究会顧問、新潟大学美術教育研究会理事	公立学校美術教師・管理職、新潟県立近代美術館副館長として、造形教育の研究に携わる。近年はこどもたちの創造力の育成や、家庭における造形教育の向上を目指している。	美術館や美術作品の楽しみ方の紹介。タイトル「美術館や美術作品鑑賞を楽しみましょう！」	成 齢、男、女	全市	
22 イバシマサトシ 石橋 正利 1948 中央区	株式会社総合教育研究所 取締役会長 (社)日本生産性本部認定日本経営品質賞セルフアセッサー (社)日本生産性本部認定ベンチマーキングインストラクター NPO内部統制評価機構認定内部統制評価者 NPO日本メンター協会公認パートナー等	大学卒業後、(株)リコーに入社。系列販売会社の営業マネージャーを体験した後、メーカー本社販売計画部門で販売促進・商品企画のスタッフ業務に携わる。企業理念と人生理念の実現を一致させた経営を支援する社会教育者としての使命を自覚し、37歳の時、(株)総合教育研究所を設立。幸援家として現在に至る。	研修講師として「経営管理者研修」「チーム・マネジメント研修」「リーダーシップ研修」「キャリアデザイン研修」「コーチング研修」「マーケティング研修」等を務めている。経営コンサルタントとして「経営品質向上活動」「顧客満足向上活動」「業績向上組織開発」「目標管理・人事制度構築」等に努めている。	●R1 ◆経営管理者養成コース『管理者の職務と役割』・管理の基本原則・目標設定と実施・自己のリーダースタイル分析・自身の目指す管理者像『組織を革新するチームとメンバーの育て方』・チームビルディングの進め方・OJTの進め方・人材育成計画の立て方と進め方 ◆部下指導・育成リーダー養成講座『部下育成の基本』・部下指導・育成リーダーの役割と心得・効果的部下指導・育成計画のつくり方・具体的部下指導・育成の進め方『仕事の教え方』・教える前に準備すること・教え方の4ステップ ◆新潟市キャリア啓発事業 地元職業人講演会『人生が楽しく、仕事にやりがいがある幸せの秘訣』・なぜ挨拶は必要でしょうか？・失敗から学ぶことで成功を手に入れられる・人間は自分が考えた通りの人間になる・幸せは今有るものに「ありがとう」と感謝することから始まる	中、高、青、成、 齢、男、女	全市 三、新、加、燕、 五、阿、胎
27 ミマコ 小見 まいこ 1982 西区	NPO法人みらいずworks 代表理事 認定キャリア教育コーディネーター 学芸員 社会教育主事補	若者の離職やニート・フリーター等の社会問題に問題意識を持ち、子どもと社会をつなぎ、子どもの自立を促すキャリア教育の支援をすべく「みらいずworks」を設立した。文部科学省コミュニティ・スクール推進員「CSマスター」。	【主な事業】 「自分軸」と「社会軸」が育つキャリア教育の推進 子どもの学びを支えるネットワークの構築 社会に開かれた教育課程・学校づくりの支援	●R1 地域連携コーディネーター養成スクール、地域と学校が協働でつくる探究学習、子どもを核として地域づくりセミナー、探究を促し、深い学びを生み出すファシリテーション研修会、コミュニケーション・スクール研修会	中、高、青、成	全市 三、新、加、燕、 五、阿、胎
208 サイゴウカ 西條 和佳子 1963 新潟市	グリーンケアこもれびのなか代表・(社)日本グリーンケア協会認定特級アドバイザー・あしなが育英会ワンティプログラムファシリテーター (社)日本グリーンケア協会認定・特級アドバイザー 国立精神・神経医療研究センター「複雑性悲嘆の認知行動療法研修」修了 あしなが育英会「子どもグリーフサポート」ワンティプログラムファシリテーター	1963年生まれ。新潟市出身。新潟大学経済学部卒業。実母の看取りを期に平成24年7月(社)日本グリーンケア協会認定・特級アドバイザーを取得。平成28年7月国立精神神経医療研究センター「複雑性悲嘆の認知行動療法」研修終了。令和元年6月あしなが育英会「子どもグリーフサポート」ワンティプログラムファシリテーター取得。	遺族を対象にした悲嘆回復ワークショップ(ピアカウンセリング)個別面談、医療福祉介護の専門職を対象にしたターミナル期からのグリーフケア研修、子どもの悲嘆ケアに関する講座など	●H29 「病氣と向き合うために、支援者が知っておきたいグリーフケア」「介護の専門職が知っておきたいグリーフケア」 ●H30 「グリーフケアを学ぶ～悲嘆からの再生～」 ●R1 「思いやりのグリーフケア」「看護師だからこそできるグリーフケア」「看護師・介護士ができるグリーフケア」	全 体	全市 三、新、加、燕、 五、阿、胎
29 カイケノコ 酒井 賢晃 1980 阿賀野市	僧侶 曹洞宗 玉泉寺住職	駒沢大学卒業 永平寺にて修行 令和2年より玉泉寺住職 NEXT21朝粥坐禅会講師 その他 UXテレビ生放送番組出演 NHK「おはよう日本」での坐禅会紹介で生放送出演	いつでも、どこでも、だれでもできる「坐禅」を多くの人に届ける、をモットーに、お寺以外の場所でも「やさしい坐禅会」を開催しています。	●H29 自分を見つめる坐禅体験、坐禅体験～心と身体を調え自分を見つめ直して見ませんか～	全 体	全市 三、新、加、燕、 五、阿、胎

【成人期】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域		
					市内	市外	
303 カキ マミ 坂井 真由美 1964 東区	開業助産師 助産師、受胎調節実地指導員、日本マタニティフィットネス協会認定：マタニティピクス、マタニティヨガ、ベビーピクス、ベビーヨガ、(産後のママのための)アフターピクス、ママフィット、ママヨガ、ママヨガwithベビーヨガ、ベビーママアクア、一般社団法人日本コンディショニング協会認定：プロフェッショナルコンディショニングインストラクター	助産師免許取得後、神奈川県内の大学附属病院に勤務。結婚を機に新潟市に転居し、市内の総合病院に勤務。H7年に開業。新生児訪問、安産教室、電話相談、育児相談、支援センターでの講座、命の出前講座(保育園～高校)、お孫育て講座、ゆりかご学級等の講師に携わる一方、日本マタニティフィットネス協会認定インストラクターとして、妊産婦、乳幼児、産後のママへのエクササイズ指導を行っている。	助産師として：妊産婦、新生児・乳幼児の保健指導、思春期教室(命の講座・性教育)、受胎調節、沐浴・授乳指導、育児全般 孫育て世代への指導や相談 インストラクター：ベビーマッサージ、乳幼児のエクササイズ、マタニティ～産後のママのエクササイズ、子どもから高齢者に至るまでのエクササイズ(ヨガ(ベビーヨガ、ママヨガ、親子ヨガ、マタニティヨガ)、エアロピクス、親子リズムダンス等) ・場所：保育園、支援センター、市の体育館、地域の子育てサークル、産婦人科クリニック内のホール、公民館	●～現在 産後ママヨガ、親子ヨガ、ママヨガ、ベビーヨガ、命の出前講座	乳,小,中,高,青,成,婦,女,親	全市	
239 サキ 康幸 佐藤 康幸 1973	サトウカウンセリングルーム代表・スクールカウンセラー・公認心理師 公認心理師 プレインスポッティングphase1、phase2 ボディ・コネクト・セラピーTraining Course(core skills) ストレスチェック実施者	2003年～サトウカウンセリングルーム開室。同年から新潟県スクールカウンセラー・新潟県学校派遣カウンセラーとして、県内小中学校に17年間勤めています。保護者や教職員への講演や研修を多数行っている他、開室以来、延べ1万6千回を超えるカウンセリング実績があります。	カウンセリングについて・話の聴き方・メンタルヘルスについての講座・子供の発達について・発達障害者への支援や対応について(ワークショップも含む)・アンガーマネジメント・認知行動療法・円滑に働くためのチームの作り方、等。	●H30 アンガーマネジメント、放課後児童クラブスタッフ育成講座「スクールカウンセラーの話聞いてみよう。子供の育ちをよりよく支えるために」 ●R1 チームで働くための体験講座	全て	北,東,中,江,秋,南,西	
53 スギ ヒロキ 鈴木 弘明 1966 新潟市	NSGカレッジリーグ 事業推進部 論語指導士	元新潟会計ビジネス専門学校副校長。簿記部の監督として全国優勝を達成。教務部長と学ぶ心を育てるための授業を学年集会時に実施。それを現在は「生き方の授業」と題して、中学生、高校生、専門学校生、大学、PTA会、職業訓練校、病院、企業等で講演を行う。また論語指導士の認定を受け講演内で論語の紹介も行っている。	「何のために勉強するの?」「何のために働くの?」「幸せとは」「感謝とは」「使命とは」などを様々なエピソードを紹介しながら、わかりやすく、面白く、深く、をモットーに伝えています。中学、高校が中心であったが、専門学校、大学、PTA会、職業訓練校、病院、企業等での活動も広がってきている。	●H29 「生徒のためのキャリア教育フォーラム」、「創業意識育成促進事業地元職業人講演会」、「マナー講演会」、「進路意識啓発講演会」、「生き方の授業」計県内外65回 ●H30 「創業意識育成促進事業地元職業人講演会」、「進路意識啓発講演会」、「進路目標確立支援事業講演会」、「生き方の授業」計県内外69回 ●R1 「キャリア啓発事業地元職業人講演会」1回、「進路意識啓発講演会」、「学習習慣形成支援講演会」、「生き方の授業」計県内外65回	中,高,青,成,親	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
181 スギ ミヅ 鈴木 美和 1973 中央区	マインドウェルネスアドバイザー 新潟労働衛生コンサルタント事務所所長 保健師、労働衛生コンサルタント、米国サンタフェNLP発達心理学協会認定NLPマスタープラクティショナー	行政保健師・大学非常勤講師を経て現在は働く人の健康支援、メンタルヘルス対策、事業所の安全衛生活動に関わる。講演では脳心理学を活用したコーチングやカウンセリング、心の健康やコミュニケーションを特に専門とする。人と繋がり楽しく学びあえる研修会を提供。	ウェルビーイング、ライフデザイン、心の健康、健康経営、パフォーマンス、コーチング、カウンセリングマインド、コミュニケーション、パフォーマンスを発揮できる人づくり・組織作り	●H30 職場におけるメンタルヘルス ●H30～R1 コーチング研修 ●R1 「あなたに逢えて良かった」と言われるためのコミュニケーション研修	成	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
259 ケジマ カコ 関島 香代子	新潟大学医学部保健学科 助産師	助産師	女性の健康 新潟市男女共同参画審議員		女		

【成人期】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域		
					市内	市外	
292 ツクダ マル 土田 衛 1968 三條市	代表取締役・コミュニケーションコンサル タント ・著書:「“会話が続く男”のテクニック」 (セルバ出版)、「“人生を180度変える” ための15の方法」(フォレスト出版) ・新潟県 県立教育センターキャリア 教育推進ステーション知恵伝 講師 ・新潟市 経済部雇用政策課キャリア ア啓発事業 講師 ・公益社団法人日本プライダル文化 振興協会認定・上級プライダルマネー ジャー	1968年生まれ、新潟大学法学部 卒。婚礼プロデュース会社を創業 し関わった顧客は1200組を超え、 現在は県内最長キャリア。 接客力向上を図る傍ら、12年以 上を費やし会話スキルを高める活 動で得た「会話の続く方法」「コミュ ニケーション力向上術」を体系化。 これまで1万人以上に、300回を超 える講演や講師でそれらを伝えて いる。	・企業・各種団体・学校等での 「会話の続く方法」や「コミュニケー ション力向上」のための研修・講 演・セミナー ・企業・各種団体での「営業力向 上」のための研修・講演・セミナー ・学校や教育機関での、働く意 味・勉強する意味等の職業観醸 成の講演 ※詳しくは、 https://www.proce.co.jp を参照	●R1 「絶賛され、稼げるようになる！ コミュニケーション術」、「今、絶対にや った方がいいこと」と「成績を上げる方法」 ●R2 「営業が確変する！7つの会話 術」	小,中,高,青, 成,齡,男,女	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
207 トク化工利かドウホウジ ンキョウウイメンズアリ ンシヨウ 特定非営利活動法人 ワーキングウイメンズ アソシエーション		平成8年に新潟県内で働く女性 の異業種交流会として設立、平 成18年に法人化。	仕事能力向上に関わるセミナー、 交流会、女性向け創業支援、仕 事と育児・仕事と介護の両立など のワークライフバランス支援、女性 の視点を生かした防災講座など	●H29～30 女性の視点を生かした親 子防災講座(全4回) ●R1 女性の視点を生かした親子向 け防災講座(全4回)	女,親	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
83 ヒヤマ サコ 平山 沙知子 1976 中央区	一般社団法人子育て交流ぼーと tete代表理事 保健師、看護師、アタッチメントベ ビーマッサージ・キッズマッサージ・ベ ビージムインストラクター、食育インス トラクター、妊産婦食アドバイザー、 新潟市食育マスター	親子のつながりを広げるための育 児支援活動として子育てサロンや 育児サークルを運営し、子育て講 座や交流会を開催している。新潟 市低出生体重児と親の会「プチ マトクラブ」及び、新潟市中央区 特色ある区づくり事業「妊カフェ・ 育カフェ」の運営を担当している。	・母乳育児、アタッチメント、食育 に関する講座や育児相談 とりわけ離乳食講座、乳幼児の 成長評価と栄養指導 ・乳幼児のお世話全般についての 講座 ベビーマッサージ・赤ちゃん体操と 発達指導、乳幼児の事故や病気 の予防 ・妊婦や母親の仲間作り、父親や 祖父母の育児参加の促進	●H29 子育て支援センター「マタニティ プログラム」 ●H30 乳幼児ふれあい体験授業 ●R1 総合的な探究の時間「新潟 市の子育て」	乳,成,女,親	全市	
7 ホマ ヒデ 洋 本間 英之 1969 西区	新潟県立がんセンター新潟病院医 師・緩和ケア科部長 日本緩和医療学会緩和医療専門 医 日本外科学会外科認定医	自治医科大学卒業、新潟大学 医学部第一外科入局。消化器 外科医として県内の病院に勤 務。外科医として最後の勤務先と なった新潟通信病院で、緩和ケア の理想と現実を悩み平成19年白 根大通病院ホスピス科に入職。 元聖隷ホスピス長 故千原明氏 に師事。平成22年県立加茂病 院緩和ケア科・一般内科部長。 平成28年現職。	比較的新しい医療の分野である 緩和ケアについて、終末期医療と しての側面だけではなく、疾患の 全ての時期(診断早期・治療期・ 治療終了後・看取り期)に共通す る医療の根本的な要素であること を実践し、医療者・一般市民の 皆様に伝えています。	●H30 「アドバンス・ケア・プランニング～不確実 性の共有～」が「がん診療における意思決定支 援」「腫瘍と緩和を考える会」「アドバンス・ケア・プ ランニング～不確実性を共有する～」医師として アドバンスケアプランニングを勤める理由」「がん 消化器症状緩和におけるIVR・薬物・外科的治 療の位置づけー日本緩和医療学会消化器症 状ガイドラインで伝えたいことー」 ●R1 「当院での強オピオイドの使い分け」「がん センター新潟病院緩和ケアチームによる疼痛緩和 の実際」「アドバンス・ケア・プランニング 同じも のを見てはいるはず」が「がん患者の神経障害 性疼痛」 ●R2 「ACP 人生会議について」「アドバンス・ケ ア・プランニングの成立と現状ー緩和ケアにおける ACPの役割ー」	小,中,高,青, 成,齡,男,女, 親	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
202 カバヤシ ヒロキ 若林 広行 1953	新潟薬科大学・副学長・教授、薬 学博士	東京薬科大学博士前期課程修 了、新潟薬科大学助手、講師、 助教授、教授(臨床薬物治療学 研究室)。米国ミネソタ州立 大学メディカルセンター・医学部薬 理毒性学教室留学。学内:副学 長、広報室長、高度薬剤師教育 研究センター長。学外:新潟県薬 事審議会委員、新潟県立看護 大学非常勤講師、新潟県立十 日町看護専門学校非常勤講師	健康長寿を目指すための予防 法、可能な限り薬は使わない健 康維持、薬の正しい服用法、薬 は服用時刻により効果を高めて 副作用を減らすに適切な服用時 刻があること、骨を丈夫にして健 康維持、20才までの若い時に質 の良い骨を作ることが健康維持に 重要、健康維持には終末糖化産 物の多い食品は避ける。	●健康のための薬の上手な利用法、 健康寿命・幸福寿命を享受するた めに	高,成,齡	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎